

現在、重要文化財温室（前館）にあった大型のヤシなどはバックヤードの保管温室にて養生管理中です。  
 工事をしていない温室（後館）の各室では、引き続き多様な温室植物をご覧いただけます。

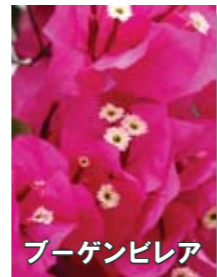
### 保管温室

大型のヤシや多肉植物などをバックヤードの保管温室で管理しています。普段は、ご覧いただけませんが、公開イベントを行うなどして、ご覧いただけるようにしています。



### 温室（後館）

ハイビスカスやブーゲンビリアなどの熱帯花木が年間を通して咲く部屋や、水辺の植物、中南米地域の植物をご紹介します。5室が公開されています。



## 東山動植物園再生プラン

### 重要文化財

# 名古屋市東山植物園温室前館

## 保存修理工事について



企画・編集

名古屋市緑政土木局 東山総合公園再生整備課・東山植物園  
 〒464-0804 名古屋市千種区東山元町 3-70 TEL: (052)782-2111  
 URL: <http://www.higashiyama.city.nagoya.jp>



平成30年4月  
 名古屋市

## 重要文化財って何？

文化財は、日本の長い歴史の中で今まで守り伝えられてきた貴重な国民の財産です。

建造物や絵画などで歴史上または芸術上の価値が高い有形文化財のうち、重要であると認められたものが、文部科学大臣により重要文化財として指定されます。

開園当時の絵葉書より



開園時(昭和12年)の温室

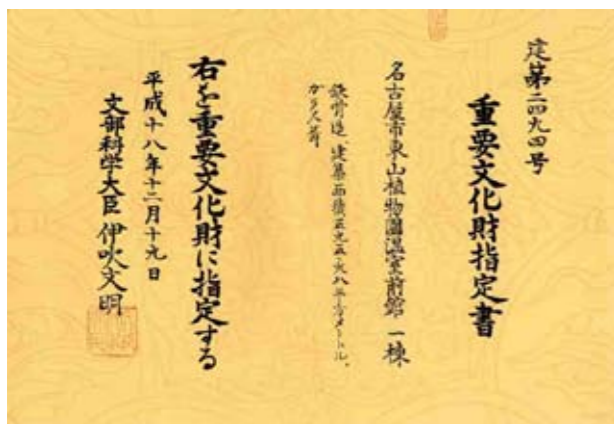
## 『東山植物園の温室』

東山植物園の温室には、昭和12年(1937)の開園当初から公開している「前館」と、昭和35年以降に順次開設した「後館」と呼んでいる部分があります。

重要文化財に指定されているのは前館で、中央ヤシ室など5つの展示室があります。建物の幅は約66m、高さは約12mあり、完成したときは「東洋一の水晶宮」と称されました。戦争や伊勢湾台風などの試練を乗り越え、開園から約80年経った今でも東山植物園のシンボルとなっています。

## なぜ東山植物園の温室前館が重要文化財に指定されたの？

東山植物園温室前館は、日本国内に残っている公共の温室では最も古く、「わが国最初期の本格的な鉄骨造温室建築として重要である」等のことから、平成18年12月19日に国の重要文化財に指定されました。



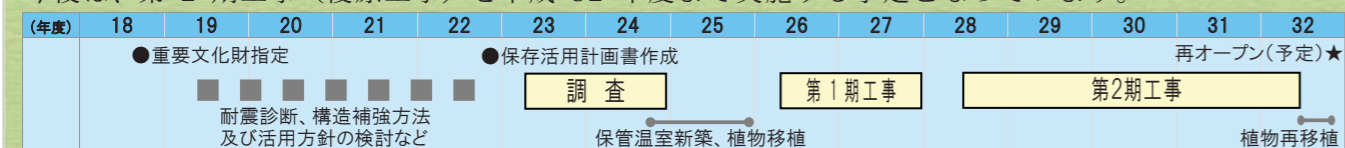
重要文化財指定書



鉄骨の継ぎ目に、当時の最新工法であった電気溶接が使われたため、美しいラインで仕上がっています。建築技術史上、高い価値があるとされています。

## 保存修理工事ってどんなことをするのかあ？期間はどれくらいかかるのだろう？

重要文化財建造物の保存修理は、文化財としての価値が失われないよう慎重に行います。壊れている部材であってもできるだけ補修し、部材を取り替える場合は、当時の構造を再現するよう努めます。平成26年8月から平成28年3月にかけて第1期工事(解体・調査工事)を実施しました。今後は、第2期工事(復原工事)を平成32年度まで実施する予定となっています。



## 第1期工事では、何をしていたの？

主要部材の鉄骨骨組みを残しながら、ガラスやサッシなどの解体を行い、一部の鉄骨補修を行いました。また、解体を行いながら、当初の意匠や仕様を知るための痕跡調査・寸法調査、施工年代の特定などを行い、保存修理方法の最終決定資料や、保存図などの作成を行いました。



温室内の土壌を取り除くと、植物に配慮した排水層(切石)が出てきました。



鉄骨廻りのコンクリートを解体したところ内部で錆が進行していました。



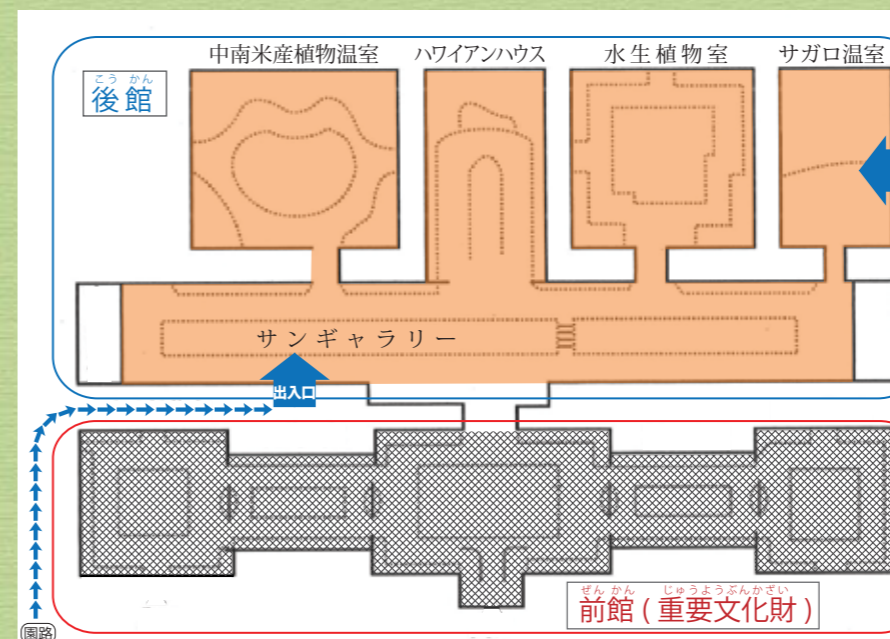
第1期工事完了時の姿

## 第2期工事では、どんなことをするの？

第2期工事では、工事に先行して温室を覆う仮設の建屋(素屋根)を設置し、柱に鉄骨を追加するなどの耐震補強を行いながら、錆びついた鉄骨の補修や切断・溶接を行います。また、鉄骨やガラス葺きなどの主要構造部や建具などは、建設当初の姿に戻していきます。工事完了後に植物の再移植を行い、平成32年度に再オープンの予定です。長くかかる工事ですが、美しい姿をご覧頂けるよう重要文化財の保存修理に取り組んでいきますので、ご理解をお願いします。

## 工事期間中、温室は全く見られないの？

工事期間中も後館(サンギャラリー、サガロ温室、水生植物室、ハワイアンハウス、中南米産植物温室)はご覧いただけます。後館も魅力たっぷりなので、是非ご観覧ください。



前館の工事期間中も引き続き観覧いただけます

次のページで、後館の魅力を紹介します!!



保存修理工事のため観覧できません